

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 市民スポーツ活動の充実  
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **スポーツ少年団補助金**

[0504]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市スポーツ少年団
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・スポーツを行う青少年を増やす。 ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) スポーツ少年団事業に対して補助を行っている。 ・単位団助成 ・指導者養成・研修 ・交流事業・リーダー養成 ・体力テスト ・少年大会等参加 種目ごとの大会開催

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	登録団数	団	45	45	44	45
対象指標2	登録団員数	人	1,308	1,256	1,185	1,185
活動指標1	補助金額	千円	2,200	2,150	2,100	2,030
活動指標2						
成果指標1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	12.6	12.5	12.2	12.4
成果指標2	認定指導員の数	人	137	134	142	142
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,200	2,150	2,100	2,030
正職員人件費 (B)		千円	806	803	802	806
総事業費 (A) + (B)		千円	3,006	2,953	2,902	2,836

費用内訳	
24年度	負担金 補助及び交付金 2,100千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・根拠は？

少年団事業を通して、青少年がスポーツ活動に親しむことは、青少年の心身の健全な育成につながることから、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・根拠は？

少年団の活動によって、青少年がスポーツに触れる機会が増しており、スポーツ・レクリエーション機会の充実に貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・根拠は？

少子化が進む中、登録団員数は一定の人数を保っており、青少年がスポーツに触れる機会を確保している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・根拠は？

指導者の養成と活動場所の確保という条件を整えば、少年団員の増が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・根拠は？

少年団による各種事業は適切に運営されており、青少年のスポーツ振興の観点から削減は難しい。